

令和4年度福岡市薬物乱用防止対策推進協議会
薬物乱用防止対策活動 資料

資料目次

令和3年度活動報告及び令和4年度活動計画

関係機関等名称	該当ページ
(1) 福岡県警察本部	
①生活安全部少年課	1～2
②暴力団対策部薬物銃器対策課	3～4
(2) 福岡市薬剤師会	5～8
(3) 福岡保護観察所	9～10
(4) 福岡市関係各局	
①こども未来局こども健全育成課	11～12
②こども未来局こども総合相談センター	13～14
③各区企画振興課等	15～28
④教育委員会中学校教育課	29～30
⑤市民局防犯・交通安全課	31～32
⑥各区保健福祉センター	33～34
⑦保健医療局精神保健福祉センター	35～36
⑧保健医療局地域医療課	37～38

令和3年度活動報告

所属	福岡県警察本部生活安全部少年課		担当者	加々美	電話番号	092-641-4141	内線(3076)	
全体の評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大麻乱用が増加したことから、中学校・高等学校等における薬物乱用教室の内容を大麻の乱用防止に重点指向し、大麻が違法であり、精神病等を引き起こす危険性の高いものであること等についての指導・教育を実施した。 ※ コロナウイルスの影響により、薬物乱用防止教室の実施回数が低調であった。 ○ 対象者の年齢、職業等に応じた薬物乱用防止教室、街頭キャンペーン等の開催、インターネットやSNS等の各種広報媒体を積極的に活用した広報啓発を実施した。 ○ 福岡市の大麻乱用少年の検挙人員は、令和3年中、32人(前年比+7人)と増加しており、憂慮すべき状況にある。 									
次年度改善事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県下では大麻乱用が増加傾向にあることから、本年度も引き続き大麻に重点を置いた薬物乱用防止教室を中高生を中心に開催していく。 ○ SNS等のインターネットを活用した広報啓発活動を推進していく。 									
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報啓発活動の対象者として、小・中・高校生、有職・無職少年、一般市民等 ○ 立ち直り支援対象者として薬物依存等の問題を抱える少年とその保護者 ○ 取締対象者として、薬物乱用少年並びに少年に対し薬物を売買又は譲渡等した者(福祉犯被疑者) 									
年間活動報告										
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		評価	
			種別	人数			共催	協力		
令和3年度	薬物乱用防止教育	福岡市内	小学校	13回	・警察官 ・少年補導職員 ・少年相談専門員	パワーポイント		福岡市教育委員会	○令和3年度中 36回(前年比+4回)	
			中学校	12回		リーフレット				
			高校	9回		啓発DVD				
			専門学校・大学	2回		薬物サンプル				
令和3年度	薬物乱用防止広報車(DAP)等による広報啓発活動	福岡市内	小・中・高校生	DAPの活用	・警察官 ・少年補導職員	DAP			○前年比 -3回	
			専門学校・大学生	0回		啓発DVD				
			有職・無職少年 (対象者は不特定多数)			薬物サンプル				
			一般市民			リーフレット				
令和3年度	少年相談の受理 立ち直り支援活動	福岡市内	シンナー乱用関係	0人	・警察官 ・少年補導職員 ・少年相談専門員			児童相談所	○前年比 +1人	
			覚せい剤乱用関係	0人						保護観察所
			大麻乱用関係	2人						医療機関
			危険ドラッグ乱用関係	0人						
令和3年中	薬物乱用少年等の検挙補導	福岡市内	シンナー乱用少年	0人	・警察官				○前年比 シンナー乱用少年 ±0人 覚醒剤乱用少年 -3人 大麻乱用少年 +7人	
			覚醒剤乱用少年	1人						
			大麻乱用少年	32人						

令和4年度活動計画

所属	福岡県警察本部生活安全部少年課		担当者	加々美	電話番号	092-641-4141	内線(3076)
全体の目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大麻に重点を置いた薬物乱用防止教育及び広報啓発活動の推進 ○ 薬物乱用少年に対する立ち直り支援活動 ○ 薬物乱用少年等の検挙・補導活動 								
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 薬物乱用防止教室の開催並びに薬物乱用防止広報車等による広報啓発活動 ○ 薬物依存等の問題を抱える少年に対する相談受理及び他機関と連携した立ち直り支援活動 ○ 薬物乱用少年の検挙・補導活動並びに少年に対し薬物を売買又は譲渡等する者(福祉犯被疑者)の取締り 								
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広報啓発活動の対象者として、小・中・高校生、有職・無職少年、一般市民等 ○ 立ち直り支援対象者として薬物依存等の問題を抱える少年とその保護者 ○ 取締り対象者として、薬物乱用少年並びに少年に対し薬物を売買又は譲渡等した者(福祉犯被疑者) 								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
令和4年度	薬物乱用防止教育	福岡市内	小学校		<ul style="list-style-type: none"> ・警察官 ・少年補導職員 ・少年相談専門員 	パワーポイント		福岡市教育委員会	
			中学校			リーフレット			
			高校			啓発DVD			
			専門学校・大学			薬物サンプル			
令和4年度	薬物乱用防止広報車(DAP)等による広報啓発活動	福岡市内	小・中・高校生		<ul style="list-style-type: none"> ・警察官 ・少年補導職員 	DAP		福岡市薬剤師会	
			専門学校・大学生			啓発DVD			
			有職・無職少年			薬物サンプル			
			一般市民			リーフレット			
令和4年度	少年相談の受理立ち直り支援活動	福岡市内	シンナー乱用関係		<ul style="list-style-type: none"> ・警察官 ・少年補導職員 ・少年相談専門員 			児童相談所	
			覚せい剤乱用関係					保護観察所	
			大麻乱用関係					医療機関	
			危険ドラッグ乱用関係						
令和4年中	薬物乱用少年等の検挙補導	福岡市内	シンナー乱用少年		<ul style="list-style-type: none"> ・警察官 				
			覚醒剤乱用少年						
			大麻乱用少年						

令和3年度活動報告

所属	福岡県警察本部暴力団対策部薬物銃器対策課		担当者	佐田、川元	電話番号	641-4141	内線(3272、3273)		
全体の評価	街頭活動の強化により地域警察官を端緒とした検挙者は、全薬物事犯941人中、419人(うち覚醒剤228人、大麻186人)であった。大麻事犯の検挙者は、398人(前年比+70人)で過去最多を記録、うち若年層の割合は約73.3%と前年より増加し、引き続き若年層にに対する大麻乱用防止対策の強化が必要である。								
次年度改善事項	薬物乱用者及び薬物供給者の徹底検挙。 若年層に対する大麻乱用防止の広報啓発活動を継続し、薬物乱用防止啓発の推進を図る。								
対象者	市民全般								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資料	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
通年	違法薬物乱用者及び密売事犯の検挙	県警本部及び県内各警察署	被疑者	941				検察庁	麻薬取締部と連携し、大麻栽培事件を検挙。門司税関と連携し、覚醒剤・大麻等密輸入事件を検挙。
								麻薬取締部	
								門司税関	
								海上保安庁	
通年	薬物事犯者に対する再乱用防止に関する指導の実施	県警本部及び県内各警察署	乱用者	430			リーフレット等	検察庁	各警察署においてリーフレット等の配布を実施。
通年	覚醒剤、大麻等薬物乱用防止講演の実施	県内大学	大学生	1,300	警察官	リーフレット		年間を通して県内大学において薬乱講義を実施。	
						パワーポイント			
						啓発DVD			
通年	NO DRUG,KNOW DRUGイベントに対する支援・参加	チャンネルシティ博多	市民全般	来訪者		リーフレット等	薬剤師会	市内大学	キャンペーンへの参加、支援の実施。
							門司税関		

令和4年度活動計画

所属	福岡県警察本部暴力団対策部薬物銃器対策課		担当者	佐田、川元	電話番号	641-4141	内線(3272、3273)		
全体の目標	違法薬物事犯、特に大麻乱用者及び供給者の徹底取締り								
活動内容	薬物乱用者及び薬物供給者の徹底検挙。 若年層に対する大麻乱用防止の広報啓発活動を継続し、薬物乱用防止啓発の推進を図る。								
対象者	市民全般								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資料	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
通年	違法薬物乱用者及び密売事犯の検挙	県警本部及び県内各警察署	被疑者					検察庁	関係機関と連携した薬物事犯の徹底検挙
								麻薬取締部	
								門司税関	
								海上保安庁	
通年	薬物事犯者に対する再乱用防止に関する指導の実施	県警本部及び県内各警察署	乱用者			リーフレット等		検察庁	県警本部及び各警察署における指導の実施
通年	覚醒剤、大麻等薬物乱用防止講演の実施	県内大学	大学生		警察官	リーフレット			薬乱防止講義の実施
						パワーポイント			
						啓発DVD			
通年	NO DRUG,KNOW DRUGイベントに対する支援・参加		市民全般			リーフレット等	薬剤師会	市内大学	イベントの支援・参加
							門司税関		

令和3年度活動報告

所属	一般社団法人 福岡市薬剤師会		担当者	吉村 宏	電話番号	092-714-4	内線()		
全体の評価	少年の大麻の乱用は増加傾向にあり、10代20代が顕著である。薬物乱用防止の基本は「正しい知識」の普及である。小中学生、高校生だけでなく、大学生及び社会人に対しても、薬物乱用防止の啓発、特に「大麻」の正しい知識の普及に注力した。「向精神薬」や「一般用医薬品」の乱用防止の基本は「くすりの正しい使い方」であり、薬剤師職能として取り組んだ。								
次年度改善事項	福岡市、FM福岡、福岡市薬剤師会の三者主催で継続している「NO DRUG, KNOW DRUGキャンペーン」は、更に連携の輪を広げ市民の薬物乱用防止意識の向上を目指す。イベントを開催を目標とするとともに、SNS, WEB配信等を活用し若年層に向けての情報発信に努める。次年度も、特に増加傾向にある「大麻」をメインテーマとする。継続開催している「福岡市薬物乱用防止街頭キャンペーン」「政令指定都市薬剤師会統一薬物乱用防止キャンペーン」の継続参加実施を目指す。学校、地域における講演活動の充実を図り、児童、生徒、学生及び市民の薬物乱用防止意識の向上を目指す。								
対象者	児童・生徒・学校関係者および一般市民								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資料	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
令和2年4月 ～令和3年3月	学校、地域における薬物乱用防止、喫煙・飲酒防止、くすり教育の講演活動。	学校、地域	児童、生徒、保護者、学校関係者、地域市民		学校薬剤師				
7月中旬	政令指定都市薬剤師会統一薬物乱用防止キャンペーン(中止)	博多駅博多口前広場	一般市民		薬剤師		福岡市	<主催>福岡市薬剤師会	*コロナ禍のため中止
7月	薬物乱用防止啓発街頭キャンペーン(中止)	大学構内					福岡市薬剤師会	<主催>福岡市	*コロナ禍のため中止
7月1日～8月31日	NO DRUG, KNOW DRUGキャンペーン	・FM福岡から啓発コメント放送 ・会員薬局での啓発活動 ・会員薬局、学校、公民館その他協力団体での啓発ポスター掲示 ・協力団体で啓発ポスターをデジタルサイネージで放映 ・ソリアビジョンでの啓発動画放映 ・啓発ラジオ番組制作・放送(FM福岡より)	一般市民					<主催>福岡市、FM福岡、福岡市薬剤師会	*コロナ禍のため啓発イベントは中止
	NO DRUG, KNOW DRUG啓発イベント(中止)	・コロナ禍のためイベントを中止し、啓発YouTube番組の制作・公開に変更した	一般市民						
8月29日	NO DRUG, KNOW DRUG YouTube特別番組	・第一薬科大学、福岡大学薬学部、九州大学薬学部、西南学院大学、九州産業大学の学生が制作 ・YouTube NO DRUG, KNOW DRUG FUKUOKAちゃんねるで公開	一般市民		薬剤師			<主催>福岡市、FM福岡、福岡市薬剤師会	

10月～11月	各区健康フェア（中止）		一般市民		薬剤師			各区保健福祉センター	*コロナ禍のため中止
1月	「喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する 図画ポスター」優秀作品の福岡市 薬剤師会会長表彰		表彰人数 小学生4名 中学生3名					<主催>福岡市学校保健 会	
研修会・協議会への参加									
5月16日	第72回指定都市学校保健協議会	相模原市	薬剤師	2人		WEB配信		日本薬剤師会、文科省、日本学校保健会	
8月2日～3日	第19回九州地区健康教育研究大会	浦添市	学校薬剤師	2人		WEB配信		日本薬剤師会	
9月19日～20日	第54回日本薬剤師会学術大会	福岡市	学校薬剤師	10人		WEB配信		日本薬剤師会	
10月14日～15日	令和3年度学校環境衛生・薬事衛生 研究協議会	奈良市	学校薬剤師	3人		WEB配信		日本薬剤師会、文科 省、日本学校保健会	
10月28日～29日	令和3年度全国学校保健・安全研 究大会	岡山市	学校薬剤師	2人		WEB配信		文科省、日本学校保 健会	
10月29日	第71回全国学校薬剤師大会	岡山市	学校薬剤師	0人				日本薬剤師会	*コロナ禍のため中止
2月	福岡市学校薬剤師研究大会	福岡市	薬剤師	全会員対 象				福岡市薬剤師会	

令和4年度活動計画

所属	一般社団法人 福岡市薬剤師会		担当者	吉村 宏	電話番号	092-714-4416		
全体の目標	少年の大麻の乱用は増加傾向にあり、特に10代20代の増加が顕著である。薬物乱用防止の基本は「正しい知識」の普及である。小中学生、高校生だけでなく、大学生及び社会人に対しても、薬物乱用防止の啓発、特に「大麻」の正しい知識の普及に注力する。「向精神薬」や「一般用医薬品」の乱用防止の基本は「くすりの正しい使い方」であり、薬剤師職能として取り組む。							
活動内容	福岡市、FM福岡、福岡市薬剤師会の三者主催で継続している「NO DRUG, KNOW DRUGキャンペーン」は、更に連携の輪を広げ市民の薬物乱用防止意識の向上を目指す。 コロナ禍の状況を鑑みながら啓発イベント開催を目指し、更にSNS, WEB配信等を活用し若年層に向けての情報発信に努める。 今年度も、特に増加傾向にある「大麻」をメインテーマとする。継続開催している「福岡市薬物乱用防止街頭キャンペーン」「政令指定都市薬剤師会統一薬物乱用防止キャンペーン」の継続参加実施を目指す。学校、地域における講演活動の充実を図り、児童、生徒、学生及び市民の薬物乱用防止意識の向上を目指す。							
対象者	児童・生徒・学校関係者および一般市民							
年間活動計画								
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関	
			種別	人数			共催	協力
令和4年4月 ～令和5年3月	学校、地域における薬物乱用防止、喫煙・飲酒防止、くすり教育の講演活動。	学校、地域	児童、生徒、保護者、学校関係者、地域市民	7781	学校薬剤師			
7月16日	政令指定都市薬剤師会統一薬物乱用防止キャンペーン	新天町サンドーム前	一般市民		薬剤師		福岡市	<主催> 福岡市薬剤師会
7月1日～8月31日	NO DRUG, KNOW DRUGキャンペーン	・FM福岡から啓発コメント放送 ・会員薬局での啓発活動 ・会員薬局、学校、公民館その他協力団体での啓発ポスター掲示 ・協力団体で啓発ポスターをデジタルサイネージで放映 ・ソリアビジョンでの啓発動画放映 ・啓発YouTubeの制作・公開 ・啓発ラジオ番組の制作・放送	一般市民					<主催> 福岡市、FM福岡、福岡市薬剤師会
	NO DRUG, KNOW DRUG啓発イベント	日程：8月28日(日) 会場：キャナルシティ博多	一般市民					
9月4日(日)	NO DRUG, KNOW DRUGイベント総集編制作放送	FM福岡ラジオ番組	一般市民					<主催> 福岡市、FM福岡、福岡市薬剤師会
10月～11月	各区健康フェア		一般市民		薬剤師			各区保健福祉センター
1月	「喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する図画ポスター」優秀作品の福岡市薬剤師会会長表彰		表彰人数 小学生3名 中学生3名					<主催> 福岡市学校保健会

研修会協議会への参加								
6月5日	第73回指定都市学校保健協議会	熊本市	薬剤師	1人		WEB配信		日本薬剤師会、文科省、日本学校保健会
8月2日～3日	第20回九州地区健康教育研究大会	長崎県	学校薬剤師	2人		WEB配信		日本薬剤師会
10月9日～10日	第55回日本薬剤師会学術大会	宮城県	学校薬剤師	2人		現地・WEB配信		日本薬剤師会
11月10日～11日	令和4年度全国学校保健・安全研究大会	岩手県	学校薬剤師	2人		現地・WEB配信		文科省、日本学校保健会
11月10日	第72回全国学校薬剤師大会	岩手県	学校薬剤師	中止				日本薬剤師会
11月17日～18日	令和4年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会	和歌山県	学校薬剤師	2人		現地・WEB配信		文科省、日本学校保健会
2月	福岡市学校薬剤師研究大会	福岡市	薬剤師	全会員対象				福岡市薬剤師会

令和3年度活動報告

所属	福岡保護観察所		担当者	山下		電話番号	092-761-6738(直通)		
全体の評価	前年度に引き続き、薬物再乱用防止プログラム対象者を確実に地域の支援機関へつなげるため、地域内の専門医療機関等との連携強化に努めた。								
次年度改善事項	4年度においても関係機関との更なる連携強化に努め、また、庁内での処遇体制を強化する。								
対象者									
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資料	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
通年	薬物再乱用防止プログラム	福岡保護観察所・北九州支部	保護観察対象者	約2110名	保護観察官	薬物再乱用防止テキスト		ダルク、マック、医療機関、AA	プログラム対象者の円滑な地域生活移行
年2回	薬物専門保護司研修会・引受人会	福岡保護観察所・北九州支部	保護司 家族 引受人	薬物専門保護司研修並びに引受人会は、コロナ禍により、集団形式での開催は控え、講師に当庁に来庁のうえ、講義内容を録画媒体に記録し、薬物専門保護司並びに引受人に視聴していただいた。	精神保健福祉センター職員	適宜作成		福岡市精神保健福祉センター、福岡県警少年サポートセンター	家族や地域関係者への薬物依存症者への理解促進と立ち直り環境の整備
年2回	薬物再乱用対策推進会議	あいれふ						精神保健福祉センター、ダルク、マック、教育機関、県警、県内精神科医療機関、麻取	関係機関との連携強化による対策強化
毎月	家族支援教室	福岡保護観察所北九州支部	家族	約25名	ダルク家族会	CLAFT等		ダルク、ダルク家族会	家族自身の健康回復

令和4年度活動計画

所属	福岡保護観察所		担当者	山下		電話番号	092-761-6738(直通)		
全体の目標	前年度に引き続き、薬物再乱用防止プログラム対象者を確実に地域の支援機関へつなげるため、地域内の専門医療機関等との連携強化に努める。								
活動内容	関係機関との更なる連携強化に努め、また、庁内での処遇体制を強化する。								
対象者									
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資料	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
通年	薬物再乱用防止プログラム	福岡保護観察所・北九州支部	保護観察対象者		保護観察官	薬物再乱用防止テキスト		ダルク、マック、医療機関、AA	プログラム対象者の円滑な地域生活移行
年2回	薬物専門保護司研修会・引受人会	福岡保護観察所・北九州支部	保護司 家族 引受人		精神保健福祉センター職員、ナラノン、家族会	適宜作成		ダルク、精神保健福祉センター	家族や地域関係者への薬物依存症者への理解促進と立ち直り環境の整備
年2回	薬物再乱用対策推進会議	あいれふ						精神保健福祉センター、ダルク、マック、教育機関、県警、県内精神科医療機関、麻取	関係機関との連携強化による対策強化
毎月	家族支援教室	福岡保護観察所北九州支部	家族		ダルク家族会	CLAFT等		ダルク、ダルク家族会	家族自身の健康回復

令和3年度活動報告

所属	子ども未来局子ども健全育成課		担当者	笠	電話番号	711-4188	内線(1764)	
全体の評価	新成人を対象とし、薬物乱用防止に係る啓発活動を行うことができた。								
次年度改善事項	イベントの場などを利用し、引き続き啓発を実施する。								
対象者	令和3年度新成人								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
R4.1.10	成人の日記念行事式典の開会前に、薬物乱用防止動画を上映し、啓発を行った。	マリンメッセ福岡A館	新成人	約3,800人		啓発動画			

令和4年度活動計画

所属	こども未来局こども健全育成課		担当者	笠	電話番号	711-4188	内線(1764)	
全体の目標	青少年の薬物乱用防止を図る。								
活動内容	イベントの場などを利用し、啓発を実施する。 (新型コロナウイルス感染症の影響により成人の日記念行事式典について中止の可能性あり。)								
対象者	令和4年度中に20歳となる者								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
R5.1.9	成人の日記念行事式典の開会前に、薬物乱用防止動画を上映し、啓発を行う。(予定)	マリンメッセ福岡A館(予定)	20歳の方	未定		啓発動画			

令和3年度活動報告

所属	こども未来局こども総合相談センター		担当者	江頭	電話番号	707-7572	内線()		
全体の評価	電話相談による援助を行い、専門性の強化や円滑な関係機関との連携に務めた。								
次年度改善事項	専門性の高い迅速な支援を行い、関係機関との連携に努める。								
対象者	概ね20歳までの子どもやその家族、関係者、子どもに関係する各種団体等								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
通年	相談業務	こども総合相談センター	電話相談	3	臨床心理士 保健師 助産師 看護師 保育士			福岡少年サポートセンター	電話相談での助言のほか、他機関への紹介等を行った。

令和4年度活動計画

所属	こども未来局こども総合相談センター		担当者	江頭	電話番号	77-7572	内線()		
全体の目標	電話相談による援助を行い、専門性の強化や円滑な関係機関との連携に努めた。								
活動内容	専門性の高い迅速な支援を行い、関係機関との連携に努める。								
対象者	概ね20歳までの子どもやその家族、関係者、子どもに関係する各種団体等								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
通年	相談業務	こども総合相談センター	電話相談		臨床心理士 保健師 助産師 看護師 保育士			福岡少年サポートセンター	関係機関との連携や相談支援の充実を図る

令和3年度活動報告

所属	東区地域支援課		担当者	鬼丸	電話番号	645-1121	内線	(141-213)	
全体の評価									
次年度改善事項									
対象者									
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資料	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
6月5日	東区少年愛護パトロール員委 嘱式において、東区少年非行 の現状について講和を予定して いたが、新型コロナウイルスの 影響により中止	なみきスクエア 第1・2会議室	青少年愛護パトロール員 校区青少年育成連絡協議会等会長		東警察署少 年課長渡辺 智子氏			東区青少年育成連絡協議会	
10月2日	東区少年愛護パトロール員研 修会において講和と研修を実施	東区役所 講堂	青少年愛護パトロール員 校区青少年育成連絡協議会等会長		福岡市教育 委員会指導 部生徒指導 課主査篠崎 俊之氏			東区青少年育成連絡協議会	

令和4年度活動計画

所属	東区地域支援課		担当者	鬼丸	電話番号	645-1121	内線	(141-213)	
全体の評価									
次年度改善事項									
対象者									
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資料	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
6月4日	東区少年愛護パトロール員の委嘱式において、東区少年非行の現状について講和を実施	なみきスクエア第1・2会議室	青少年愛護パトロール員		東警察署少年課長下本高之氏			東区青少年育成連絡協議会	
			校区青少年育成連絡協議会等会長						
10月1日	東区少年愛護パトロール員研修会において、講和と研修を実施	東保健所講堂	青少年愛護パトロール員		福岡市教育委員会指導部生徒指導課主査篠崎俊之氏			東区青少年育成連絡協議会	

令和3年度活動報告

所属	博多区企画振興課		担当者	厨	電話番号	419-1043	内線	(142-217)	
全体の評価									
次年度改善事項									
対象者									
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資料	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
新型コロナウイルス感染拡大のため中止	博多区少年愛護パトロール員研修会において、少年非行等について学習		博多区少年愛護パトロール員						
新型コロナウイルス感染拡大のため中止	博多保護区保護司会と共催で、博多区青少年健全育成・非行防止キャンペーンにおいて啓発活動を実施		保護司会・青少年育成連合会等						

令和4年度活動計画

所属	博多区企画振興課		担当者	厨	電話番号	419-1043	内線	(142-217)	
全体の目標									
活動内容									
対象者									
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
6月8日	博多区少年愛護パトロール員 研修会において、少年非行等 について学習	博多区役所	博多区少年 愛護パト ロール員	28名	博多署少年 課少年係長				少年愛護パトロール員 の青少年健全育成に 対する理解をより深め る。
11月29日 ※予定				-	福岡少年サ ポートセン ター少年育 成指導官				
7月2日	博多保護区保護司会と共催 で、博多区青少年健全育成・非 行防止キャンペーンにおいて啓 発活動を実施	博多駅前	博多保護区 保護司会・ 青少年育成 連合会等	約100名		チラシ等 啓発物	博多保護 区保護司 会	博多警察署 博多駅商店 連合会 青少年育成 連合会等	啓発物を配布し、広く 啓発活動を行う。

令和3年度活動報告

所属	中央区企画振興課		担当者	御幡	電話番号	718-1055	内線	(143-416)	
全体の評価									
次年度改善事項									
対象者	中央区青少年育成連絡会, 少年愛護パトロール員								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
3月 (中止)	少年愛護パトロール員第3回研修会において、薬物乱用の危険性をはじめとする、少年非行の現状と関わり方について講演会を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	中央区役所	愛護パト	40				中央区青少年育成連絡会	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会は中止。
			区青育連	14					

令和4年度活動計画

所属	中央区企画振興課		担当者	御幡	電話番号	718-1055	内線	(143-416)	
全体の目標									
活動内容									
対象者	中央区青少年育成連絡会, 少年愛護パトロール員								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
3月	少年愛護パトロール員第3回研修会において, 薬物乱用の危険性をはじめとする, 少年非行の現状と関わり方について講演会を行う。	中央区役所	愛護パト	40	未定			中央区青少年育成連絡会	
			区青育連	14					

令和3年度活動報告

所属	南区企画振興課		担当者	森	電話番号	559-5064	内線(144-236)
全体の評価									
次年度改善事項									
対象者									
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
7月中止 3月中止	南保護区保護司会主催の薬物乱用防止キャンペーンに協力し, 街頭キャンペーンを行う。	大橋駅西口	南保護区保護司会, 南 区役所, 南 警察署	25人程度		リーフレット	南区保護 司会, 南警 察署		

令和4年度活動計画

所属	南区企画振興課		担当者	森	電話番号	559-5064	内線(144-236)
全体の目標									
活動内容									
対象者									
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
7月中止 3月未定	南保護区保護司会主催の薬物乱用防止キャンペーンに協力し, 街頭キャンペーンを行う。	大橋駅西口	南保護区保護司会, 南区役所, 南警察署	25人程度		リーフレット	南区保護司会, 南警察署		

令和3年度活動報告

所属	城南区総務部地域支援課		担当者	金澤	電話番号	833-4062	内線(190-412)	
全体の目標	薬物乱用防止についての啓発活動及び情報提供を行い、現状と課題を共有する。								
活動内容	薬物乱用防止について、地域住民・青少年に向けた啓発活動及び情報共有。								
対象者	地域住民, 学校, 小中学生など								
年間活動計画	下記のとおり								
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
7月15日	薬物乱用防止を含む、青少年非行状況を報告するとともに、啓発物の配布を行った。	城南区役所 大会議室	校区青育団体代表	11	/	リーフレット 等啓発物	/	保健福祉局	啓発物を配布し、広く啓発活動を行う。

令和4年度活動計画

所属	城南区総務部地域支援課		担当者	金澤	電話番号	833-4065	内線(190-412)	
全体の目標	薬物乱用防止についての啓発活動及び情報提供を行、現状と課題を共有する。								
活動内容	薬物乱用防止について、地域住民・青少年に向けた啓発活動及び情報共有。								
対象者	地域住民、学校、小中学生など								
年間活動計画	下記のとおり								
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資料	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
5月19日	少年愛護パトロール員・見守る店合同研修において、薬物乱用を含む青少年の非行の現状と関わり方について講話を行い、薬物乱用防止啓発物の配布を行う。	城南区役所 大会議室	校区青育団体代表、少年愛護パトロール員	10	福岡少年サポートセンター 少年補導職員	リーフレット等啓発物	/	保健福祉局	啓発物を配布し、広く啓発活動を行う。
7月15日	薬物乱用防止を含む、青少年非行状況を報告するとともに、啓発物の配布を行う。	城南区役所 大会議室	校区青育団体代表	11	/	リーフレット等啓発物	/	保健福祉局	啓発物を配布し、広く啓発活動を行う。
9月10日	中学生健全育成フォーラム「中学生サミット」の会場において、薬物乱用防止にかかる啓発物を配布する。	城南市民センター ホール	中学生、保護者、地域住民	164	/	リーフレット等啓発物	/	保健福祉局	啓発物を配布し、広く啓発活動を行う。
11月 2月	薬物乱用防止を含む、青少年非行状況を報告するとともに、啓発物の配布を行う。	/	中学校区青育協	235	/	リーフレット等啓発物	/	保健福祉局	啓発物を配布し、広く啓発活動を行う。

令和3年度活動報告

所属	早良区総務部地域支援課		担当者	春瀬	電話番号	833-4403	内線	(145-435)	
全体の評価									
次年度改善事項									
対象者									
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
11月16日	早良区少年愛護パトロール員研修会において、薬物乱用をはじめとする子どもや家庭が抱える課題などについて研修を実施。	早良市民センターほか	早良区少年愛護パトロール員、早良区青少年育成連絡協議会委員	29	蒲池 恵さん (有田小学校 スクールソーシャルワーカー)				

令和4年度活動計画

所属	早良区総務部地域支援課		担当者	春瀬	電話番号	833-4403	内線	(145-435)	
全体の目標									
活動内容									
対象者									
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
9月～3月	早良区少年愛護パトロール員研修会において, 薬物乱用をはじめとする少年非行の実態などについて講演等を年1回程度実施。	早良市民センターほか	早良区少年愛護パトロール員	30	早良区非行防止対策推進員ほか				

令和3年度活動報告

所属	西区企画振興課		担当者	石丸	電話番号	895-7033	内線	(191-229)	
全体の評価									
次年度改善事項									
対象者									
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
7月	青少年の非行・被害防止強調月間に合わせ、各校区でキャンペーングッズを活用(公民館にグッズを設置し自由に持ち帰ってもらう等)し啓発活動を行った。	各校区	市民	約6,000 (啓発物資配布数)		啓発物資	西区青少年育成連絡会		
11月~1月	子ども・若者支援強調月間に合わせ、キャンペーングッズの代わりに個包装マスク50枚入りを各校区に1箱配布し、夜間パトロールに活用して啓発活動を行った。	各校区	市民	— (24校区)		啓発物資	西区青少年育成連絡会		

令和4年度活動計画

所属	西区企画振興課		担当者	石丸	電話番号	895-7033	内線	(191-229)	
全体の目標									
活動内容									
対象者									
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
7月	青少年の非行・被害防止強調月間に合わせ、各校区でキャンペーングッズを活用し啓発活動を実施する。	各校区	市民	約6,000 (啓発物資配布数)		啓発物資	西区青少年育成連絡会		
11月～1月	子ども・若者支援強調月間に合わせ、各校区でキャンペーングッズを活用し啓発活動を実施する。	各校区	市民	約6,000 (啓発物資配布数)		啓発物資	西区青少年育成連絡会		

令和3年度活動報告

所属	福岡市教育委員会 指導部 中学校教育課		担当者	黒松琢磨	電話番号	711-4639	内線(3722)	
全体の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・「第5次薬物乱用防止五か年戦略」を受けて、喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の組織的・計画的な推進を図った。 ・指導者研修会(各校1名悉皆)では、大学准教授(医師)の講話と、県の薬務課より大麻乱用防止対策についての説明を行った。 ・教科及び生徒指導との連携を図った、喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育を実施した。 								
次年度改善事項	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育指導者研修会の開催 ・各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室の実施 ・全小中学校における健康教育年間指導計画の作成と教育指導計画の位置づけ 								
対象者									
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		評価
			種別	人数・校数			共催	協力	
6月	各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室の実施状況調査	各学校	小学校	144校					全校作成・提出
			中学校	69校					
			高校	4校					
5~3月	各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室	各学校	小学校	144校	学校薬剤師、少年サポートセンター等				全校実施 感染症対策のため、講師招聘を中止した学校があった。
			中学校	69校					
			高校	4校					
6月20日	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育指導者研修会	オンライン(配信場所:教育センター)	教職員	225人	九州大学准教授 眞崎義憲 薬務課 麻薬係係長 児玉臨				感染症対策のため、オンライン形態で行った。
6月~11月	各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育研修会	各学校	教職員	市立学校職員	学校薬剤師、少年サポートセンター、学校管理職等				感染症対策のため、オンライン形態で講師と講話や協議を行った学校があった。

令和4年度活動計画

所属	福岡市教育委員会 指導部 中学校教育課		担当者	黒松琢磨	電話番号	711-4639	内線(3722)	
全体の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「第5次薬物乱用防止五か年戦略」を受けて、喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の組織的・計画的な推進を図る。 ・指導者研修会(各校1名悉皆)は、大学准教授(医師)の講話や、県の薬務課より大麻乱用防止対策についての説明を計画。 ・教科及び生徒指導との連携を図る、喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の計画。 								
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育指導者研修会の開催 ・各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室の実施 ・全小中学校における健康教育年間指導計画の作成と教育指導計画の位置づけ 								
対象者									
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
6月	各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室の実施状況調査	各学校	小学校	144校					全校作成・提出
			中学校	69校					
			高校	4校					
5～3月	各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室	各学校	小学校	144校	学校薬剤師、少年サポートセンター等				全校実施
			中学校	69校					
			高校	4校					
6月20日	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育指導者研修会	Zoom (配信場所:教育センター)	教職員	225人	未定				専門的な内容で各校の防止教育が推進できる内容で実施
6月～11月	各学校における喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育研修会	各学校	教職員	市立学校職員	学校薬剤師、少年サポートセンター、学校管理職等				各学校の実態に応じた内容の充実

令和3年度活動報告

所属	福岡市市民局防犯・交通安全課		担当者	近藤	電話番号	092-711-4054	内線(1772)	
全体の評価	新型コロナウイルス感染症防止により出前講座を一定期間中止した影響もあり、薬物乱用に係る講座は実施していない。								
次年度改善事項	新型コロナの動向等を注視しながら、出前講座による啓発を行う。								
対象者	市民								
年間活動報告	なし								
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	

令和4年度活動計画

所属	福岡市市民局防犯・交通安全課		担当者	近藤	電話番号	092-711-40		内線(1772)
全体の目標	市民に対する違法薬物乱用防止啓発活動の推進								
活動内容	新型コロナの動向等を注視しながら、防犯の出前講座において薬物乱用防止の啓発を行う。								
対象者	市民								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
通年	出前講座	福岡市内	大学生及び 専門学生等		生活安全 専門員	パワーポイ ント、DVD			危険ドラッグの危険性 及び後遺症等の啓発 を行う。

令和3年度活動報告

所属	各区保健福祉センター健康課(保健予防課)		担当者 辛川	電話番号 711-4270	内線(2062)				
全体の評価	薬物に関する相談は、本人やその家族からの相談が多く、病院等他機関の紹介を行った。								
次年度改善事項	引き続き関係機関と連携を図り、薬物乱用防止を推進していく。								
対象者	薬物依存等の問題を抱える当事者とその家族等								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
通年	薬物に関する相談業務	各区 精神保健福 祉係	窓口	1	保健師、 精神保健 福祉士、 精神保健 福祉職員				窓口より電話での相談 が多く、覚せい剤に関 する相談が最も多かつ た。
			電話	3					

令和4年度活動計画

所属	各区保健福祉センター健康課(保健予防課)		担当者	辛川	電話番号	711-4270	内線(2062)	
全体の目標	引き続き薬物に関する問題を抱える当事者とその家族等に対する相談を実施し支援する。								
活動内容	相談業務(窓口、電話)								
対象者	薬物依存等の問題を抱える当事者とその家族等								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
通年	薬物に関する相談業務	各区 精神保健福 祉係	窓口		保健師、 精神保健 福祉士、 精神保健 福祉職員				
			電話						

令和3年度活動報告

所属	精神保健福祉センター		担当者	家村・牛島		電話番号	737-8825		内線(6630)	
全体の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、会場開催できず中止になる事業も多く、個別で対応することが多かった。 ・2月の依存症支援者連携会議では、関係機関と共同開催し、幅広い団体と連携を図った。 										
次年度改善事項	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の動向に注視しながら、事業内容を検討していく。 ・幅広い関係機関との連携や市民への情報発信に努める。 										
対象者	薬物依存症当事者・家族、市民、行政・医療・保健・福祉・司法関係者等で薬物依存問題に関わる職員										
年間活動報告											
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資料	連携機関		評価		
			種別	人数			共催	協力			
通年	<ul style="list-style-type: none"> ・依存症専門電話相談 火・木 10時～13時 ・依存症専門医師面接相談 月4回(予約制) 	精神保健福祉センター	電話	37	精神科医 臨床心理 士 精神保健 福祉士				関係機関からの勧め で相談に至るケースが 多い。		
			面接	13							
5月～3月	薬物問題を抱える家族のための 教室 (前期1回・後期4回)	あいれふ 研修室	家族	8	精神保健 福祉セン ター職員な ど	ワークブック			新型コロナウイルス感 染症の影響により会場 開催できない時期あ り、コロナ禍での支援 の難しさを感じた。		
4月～3月	薬物依存症者回復支援プロ グラム(18回)	あいれふ 研修室	当事者	61	精神保健 福祉セン ター職員な ど	ワークブック			新型コロナウイルス感 染症の影響によりプロ グラムを中止し、個別 で対応することも多 かった。		
8月、2月	依存症支援者連携会議	オンライン	支援機関	67	-				新型コロナウイルス感 染症の影響により、オ ンラインでの開催と なった。		

令和4年度活動計画

所属	精神保健福祉センター		担当者	家村・牛島		電話番号	737-8825		内線(6630)	
全体の目標	昨年度に引き続き、幅広い関係機関との連携や市民への情報発信に努める。										
活動内容	薬物依存問題に関する相談、薬物を抱える家族のための教室、薬物依存者回復支援プログラム、依存症支援者連携会議										
対象者	薬物依存症当事者・家族、市民、行政・医療・保健・福祉・司法関係者等で薬物依存問題に関わる職員										
年間活動計画											
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材、資料	連携機関		目標		
			種別	人数			共催	協力			
通年	・依存症専門電話相談 火・木 10時～13時 ・依存症専門医師面接相談 月4回(予約制)	精神保健福祉センター			精神科医 臨床心理士 精神保健福祉士				家族教室や支援者等につながるよう支援を行う。		
5月～3月	薬物問題を抱える家族のための教室 (前期5回・後期5回)	あいれふ研修室			精神保健福祉センター職員など	ワークブック			状況に応じて、支援内容を充実していけるよう検討する。		
4月～3月	薬物依存症者回復支援プログラム(24回)	あいれふ研修室			精神保健福祉センター職員など	ワークブック			状況に応じて、支援内容を充実していけるよう検討する。		
8月、2月	依存症支援者連携会議	あいれふ講堂			—				対面開催し、関係団体の相互理解と連携強化を図る。		

令和3年度活動報告

所属	保健医療局健康医療部地域医療課		担当者	白水	電話番号	711-4264	内線(2073)	
全体の評価	関係部署や地域住民との連携を図り、薬物乱用防止啓発をより充実させた。若年層に対し大麻等の危険性について重点的に啓発を行った。								
次年度改善事項	薬物乱用防止啓発キャンペーンイベント等により広く市民への啓発を行うほか、昨年度から引き続き若年層への啓発を重点目標とし、大学関係者等との連携のもと、学生への啓発を行った。								
対象者	市民								
年間活動報告									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資材	連携機関		評価
			種別	人数			共催	協力	
4月 7月	学校へのリーフレット配付による啓発		大学・短期大学 専修学校	24校 83校		リーフレット			新入学・新学期の時期に各学校で啓発の機会を設けた。
5月	学内LANIによる啓発メールの送信		大学・短期大学				市民局 市内大学・短期大学		福岡市内に所在する大学及び短期大学生の新入生に対し薬物に関する啓発を行った。
5～6月	不正大麻・けしの啓発 不正けしの抜去	各保健所 市内各地域	市民				各保健所他	各保健所	市内に自生していた3,381株を除去した。
6～7月	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 街頭キャンペーン								新型コロナ感染症感染拡大防止に伴い中止。
キャンペーン期間 7/1～8/31	薬物乱用防止啓発NO DRUG, KNOW DRUG キャンペーン		市民、学生等	視聴回数約 1,700回(R4.3 月末時点)		オンラインイ ベント動画	市薬剤師 会、FM福岡	市内大学、 県警察、福 岡県等	多くの関係者・団体の協力や出演を得て、メディアによる 広報を活用し、広く市民に効果的な啓発を行った。 イベントはオンラインにて実施した。
7月	政令指定都市薬剤師会統一薬物乱用防止 キャンペーン								新型コロナ感染症感染拡大防止に伴い中止。
通年	・電子看板(大型ビジョン)の放映 ・薬物乱用防止啓発ポスターの配付、掲示 ・学校や関係課への啓発資材の提供 ・薬物乱用防止啓発ホームページ	本市庁舎内他	市民			動画 ポスター 啓発資材 ホームページ			広報啓発の充実を図った。

令和4年度活動計画

所属	保健医療局健康医療部地域医療課		担当者	白水	電話番号	711-4264	内線(2073)	
全体の目標	関係部署や地域住民との連携を図り、薬物乱用防止啓発をより充実させる。 若年層に対し大麻等の危険性について重点的に啓発を行う。								
活動内容	薬物乱用防止啓発キャンペーンイベント等により広く市民への啓発を行うほか、昨年度から引き続き若年層への啓発を重点目標とし、大学関係者等との連携のもと、学生への啓発を行う。								
対象者	市民								
年間活動計画									
実施時期	活動内容	実施場所	参加者(対象者)		講師等	教材, 資料	連携機関		目標
			種別	人数			共催	協力	
4月	学校へのリーフレット配付による啓発		大学・短期大学 専修学校			リーフレット			新入学・新学期の時期に各学校で啓発の機会を設ける。
5月	学内LANによる啓発メールの送信		大学・短期大学				市民局 市内大学・ 短期大学		福岡市内に所在する大学及び短期大学の新入生 に対し薬物に関する啓発を行う。
5月～6月	不正大麻・けしの啓発 不正けしの除去	各保健所 市内各地域	市民				各保健所 他	各保健所	
6月～7月	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 街頭キャンペーン		市民 (主に学生)			ティッシュ、 リーフレット		市薬剤師会、 保護司会、市 BBS会、該当 区保健所、大 学生	
キャンペーン期間 7月～8月	薬物乱用防止啓発 NO DRUG、KNOW DRUGキャンペーン		市民、学生等			ラジオ	市薬剤師 会、FM福 岡	市内大学、県 警察、福岡 県等	多くの関係団体の協賛・協力や参加を得て、さらにメディア による広報を活用し、広く市民に効果的な啓発を行う。 イベントについては新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観 点から方法を検討する。
7月	政令指定都市薬剤師会統一薬物乱用防止 キャンペーン	新天町商店街	市民			リーフレット等	主催)市薬 剤師会 共催)市		
通年	・電子看板(大型ビジョン)の放映 ・薬物乱用防止啓発ポスターの配付、掲示 ・学校や関係課への啓発資料の提供 ・薬物乱用防止啓発ホームページ	本市庁舎内等	市民			動画、ポス ター 啓発資料、 ホームページ			広報啓発の充実を図る。